

# 地区別計画

## 中区の13地区が目指す5年後のまちの姿

それぞれの特色を生かした取組が行われています

区内の12連合町内会エリアに寿地区を加えた13地区で地区別計画を策定しています。

### ① 第1北部地区

多世代・多国籍の人が、ともに地区活動、見守り、情報発信に取り組むまち

### ② 第1地区中部

高齢者、障害者、子どもが多文化共生する、安全で健康なまち「いちなか」

### ③ 関内地区

「こんにちは」「コンニチハ」笑顔が繋がるまち・関内



<b>④ 埋地地区</b> みんなが集う“夢”や“希望”が持てるまち	<b>⑤ 寿地区</b> 寿に住んでいる、寿で育つと、堂々と言えるまち～寿はたがいに受け止め合い支え合う～	<b>⑥ 石川打越地区</b> 住んでいる皆さんの支え合いや、助け合いが生き、幸せなあと感じられるまち	<b>⑦ 第2地区</b> 多様な年代、国の人々がいきいきと暮らす豊かで賑わいあるきれいなまち	<b>⑧ 第3地区</b> いろいろな世代が触れ合い、地域丸ごとのつながり強化で、困りごとを解決できる第3地区
<b>⑨ 第4地区南部</b> 声が掛けあえるまち 第4地区南部	<b>⑩ 第4地区北部</b> 子どもたちの「ふるさと」になるまち～安心して住みやすい誇れるまち～	<b>⑪ 本牧・根岸地区</b> 誰もが地域の一員として、安心して過ごせるまち本牧・根岸	<b>⑫ 第6地区</b> みんなであう町づくり	<b>⑬ 新本牧地区</b> 新本牧は「あいさつ」でまちづくり～広げよう！つなげよう！「人の和」～

### お問合せ先

横浜市中区役所 福祉保健課 事業企画担当  
〒231-0021 横浜市中区日本大通35番地  
TEL 045-224-8330 FAX 045-224-8157  
Eメール na-iineplan@city.yokohama.jp

社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会  
〒231-0023 横浜市中区山下町2番地  
産業貿易センタービル4階  
TEL 045-681-6664 FAX 045-641-6078  
Eメール info@nakasha.net

この計画は、中区役所ウェブページ([https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kurashi/fukushi\\_kaigo/chiikifukushi/fukushi-plan/](https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kurashi/fukushi_kaigo/chiikifukushi/fukushi-plan/))または右記二次元コードからご覧いただけます。



暮らしやすいまちにするために13地区の計画があります



横浜市地域福祉保健計画のキャラクター ちふくちゃん



中区地域福祉保健計画

第4期

令和3年度～7年度

# 中なかいいネ!

概要版



## 中なかいいネ! って何?

「中なかいいネ!」は中区地域福祉保健計画の愛称です。

中区地域福祉保健計画とは、地域の人々がお互いに支え合いながら、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていけるようなまちづくりを目指して、中区内に住む人・働く人すべての人が協力をしながら進めていく計画です。

## 「中なかいいネ!」の構成

「中なかいいネ!」は13地区の地区別計画と区域計画から成り立っています。

### 地区別計画

地域が目指すまちの姿や地域の様々な課題に対する取組を地域が主体となってまとめたもの。

取り組む人 地域に住む人・働く人

### 区域計画

区域の共通課題や地域では解決することが困難な課題に対する取組をまとめたもの。地区別計画が進むよう後押しします。

取り組む人 区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、福祉・保健関係者や企業・事業者等、地域に住む人

### 地区別計画



## 計画期間について

第4期計画の計画期間は令和3年度～令和7年度の5年間です。

### 第1期

平成18年度～平成22年度

### 第2期

平成23年度～平成27年度

### 第3期

平成28年度～令和2年度

### 第4期

令和3年度～令和7年度

## 自助・共助・公助で取り組む「中なかいいネ!」

地域福祉保健計画は、お互いに助け合う「共助」が中心となりますが、生活や地域の困りごとを解決するためには、自助・共助・公助を組み合わせ、総合的に取り組みます。

### 自助

個人や家族でできることを取り組む

### 共助

地域や仲間同士でお互いに助け合う

### 公助

公的機関が行う

# 2 第4期計画の方向性

多くの区民が歴史や文化のあるまちとして、中区に愛着を持っています。将来に渡って中区のすばらしさを継承するには、そこに暮らす子ども・障害者・高齢者・外国人を含め、すべての人が安心して生き生きと暮らす地域共生社会にしていく必要があります。

第3期計画を進める中で、活動している区民の方からいただいたご意見です。

- 計画を知らない人が多い。
- 一部の住民によって活動が支えられている。
- 多くの活動があるが、関係者以外に知られていない。

このことから、第4期計画では「もっとみんなの『中なかいいネ!』」を目指します。

## もっとみんなの「中なかいいネ!」 ～相互理解を進めよう～

「中なかいいネ!」は区民による区民のための計画です。「もっとみんな」とは、子ども、働き世代、高齢者までの全世代、障害者、外国人等の当事者も含め、すべての人です。そして、住民だけでなく、企業や事業所などの働く人も含め、お互いに理解し合うことを目指します。

### もっとみんなの「中なかいいネ!」にするためには?

誰もが安心して住みやすいまちにするためには、中区に住む人・働く人すべての人の協力が必要です。それぞれの状況に合わせて、できることから始めてみましょう。

#### 中区地域福祉保健計画「中なかいいネ!」推進会議委員

- 地区の代表者(13地区)
- 中区連合町内会長連絡協議会
- 地区社会福祉協議会
- 中区医師会
- 中区歯科医師会
- 中区薬剤師会
- 中区障害者団体連絡会
- 中区ボランティア連絡会
- (公財)横浜市国際交流協会
- 学識経験者

#### できることから始めてみましょう

住む人・働く人

- 1 挨拶をしよう・顔見知りになろう
- 2 住んでいるまちを知ろう  
地域の状況や地域の活動を見てみましょう。
- 3 応援しよう  
地域で行われている活動や活動している人を応援しましょう。
- 4 学び合おう・話し合おう  
地域のルールや課題を知りましょう。  
あなたの気づきやアイデアを伝えましょう。
- 5 参加しよう  
興味のある行事に行ってみよう。  
できることを手伝いましょう。
- 6 仲間をつくらう

- 中区中学校長会
- 中区民生委員児童委員協議会
- 中区主任児童委員連絡会
- 中区保健活動推進員会
- 中区食生活等改善推進員会
- 中区青少年指導員協議会
- 中区スポーツ推進委員連絡協議会
- 中区老人クラブ連合会
- 横浜商工会議所

#### 事務局

中区役所 中区社会福祉協議会 地域ケアプラザ

#### 中区民に関わりのある地域福祉保健計画と一緒に進める機関・団体等

- |                |                    |             |            |                               |
|----------------|--------------------|-------------|------------|-------------------------------|
| ● 消費生活推進員      | ● 保育園              | ● 病院        | ● 図書館      | ● 中区地域ケアプラザ                   |
| ● 公園愛護会        | ● 幼稚園              | ● 消防        | ● 商店街      | ● 竹之丸保育園(育児支援センター園)           |
| ● 環境事業推進員      | ● 介護事業所            | ● 警察        | ● 企業・事業所   | ● かながわ外国人すまいサポートセンター          |
| ● 家庭防災員        | ● 高齢者施設            | ● 障害者施設     | ● 郵便局      | ● 中区地域子育て支援拠点「のんびりんこ」         |
| ● 消防団          | ● 学童保育所            | ● 地区センター    | ● スポーツセンター | ● 横浜市寿福祉プラザ相談室                |
| ● 保護司会         | ● 放課後キッズクラブ        | ● コミュニティハウス |            | ● 中区障害者支援拠点                   |
| ● NPO法人や地域活動団体 | ● 小学校・中学校・高等学校・大学等 |             |            | ● 中区在宅医療相談室                   |
|                |                    |             |            | ● よこはま東部ユースプラザ                |
|                |                    |             |            | ● なか国際交流ラウンジ                  |
|                |                    |             |            | ● 男女共同参画センター横浜南<br>(フォーラム南太田) |

## 区域計画

## 目標

# もっとみんなの「中なかいいネ!」

推進の柱

### 1 見守り力を高める「えん結び」

お互いに関心を持ち、みんなで暮らしの困りごとの解決に取り組みましょう

#### ＼もっとみんなにするために／

- 住む人、働く人も一緒に世代を越えて取り組みましょう。
- お近くの知り合いを増やしましょう。
- 「お互いさま」の身近な助け合いを増やしましょう。



地域活動を伝えるイベントカレンダー

推進の柱

### 2 健康づくりの「元気いっぱい」

みんなでここからだの健康づくりに取り組みましょう

#### ＼もっとみんなにするために／

- 年齢、健康状態、障害の有無にかかわらず可能な範囲で行いましょう。
- 周囲の人の健康を気遣って、声を掛け合いましょう。
- 空いている時間で簡単にできる工夫をしましょう。



子どもも大人も参加するラジオ体操

活動の2本の柱

「もっとみんなの『中なかいいネ!』」を進めていくために、様々な人の気づきを分かち合うことが重要です。

より良い地域づくりのために、みんなの想いを共有し、意見を出し合ひましょう。(対話)

また、変化する社会の今を知り、私たちの活動のヒントを得る学び合う場をつくっていきましょう。(学び)

### 仲間を増やす 人財

困りごとの解決に向けて協働する人財を育成・発掘します

- 地域活動に参加したことがない働き世代等に向けて、地域参画のきっかけづくりを行います。
- 地域で活動している人のスキルアップとして、異なる分野の活動者との交流の機会をつくれます。



異なる分野の地域活動者同士のグループワーク

地域活動を推進する3つの土台  
(人財・交流・情報の強化)

### 交流 することで気づく

周りの人に関心を持ち、他の団体の活動趣旨や困りごとに気づきます

- 住んでいる地域のことを理解し、困りごとの解決に向けて住民同士で話し合うことができる機会をつくれます。
- 障害者や外国人等と一緒に地域参画ができるよう相互理解を進めるとともに、きっかけづくりを行います。
- 企業や事業所が地域住民と連携して地域活動に取り組めるよう、知り合う機会づくりや協力を求めています。

### 動機づけとなる 情報

暮らし続けるためにそのまちのことを知ります

- 住民が住んでいる地域の情報を得ることにより、地域や地域活動に関心が持てるよう、これまで活用してきた掲示板や回覧板のほか、HP・SNS・マリンFM等の新しい情報媒体を活用していきます。



地域ケアプラザに掲示している地域の紹介パネル

地域の「えん結び」と「元気いっぱい」の活動をより進めるために、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザが中心となり、地域の組織・団体や企業、事業所等と協働し、3つの土台を強化していきます。